

G7広島サミット
開催記念
シンポジウム

核兵器のない世界に向けて —安全への道筋は

ウクライナ侵攻でロシアが見せた「核の恫喝」は、核抑止体制への明白な挑戦である。
広島出身の岸田首相は、核軍縮・不拡散に向けた日本の貢献拡大への意欲を示す。5月のG7
広島サミットをその大舞台としたい考えだ。
だが、今や核保有国と非核保有国の間の対立や、保有国同士の不信は一段と深まっている。
軍備管理体制に参加しない中国は、核戦力増強を加速させている。日本や東アジアの安全は
目下、米国の「核の傘」抜きでは維持しえない。一方、被爆地・広島からは「核兵器のない世界」を
求める声はやまない。
「核廃絶」の理想と「安全の確保」の現実—両者のバランスをどう取っていくのか。日本の役割
はなにか。専門家らと探る。

2023年

日時

4月15日(土) 12:15~17:35

会場

広島コンベンションホール
2階ホール

PROGRAM

- 12:15 主催者挨拶 山口 寿一 読売新聞グループ本社 代表取締役社長
開会挨拶 越智 光夫 氏 広島大学 学長
岸田首相メッセージ
- 12:30 基調講演
ブラッド・ロバーツ 氏 元米国防次官補代理
(休憩10分) 米ローレンス・リバモア国立研究所グローバルセキュリティリサーチセンター所長
- 13:40 セッション1
「東アジアの安全保障と核抑止の行方」
北岡 伸一 氏 東京大学 名誉教授
兼原 信克 氏 元内閣官房副長官補
小泉 悠 氏 東京大学先端科学技術研究センター 専任講師
(休憩15分)
- 15:15 被爆者の声
小倉 桂子 氏
- 15:45 広島の声
(休憩10分) 川野 徳幸 氏 広島大学 平和センター長
- 16:25 セッション2
「核廃絶への道。実効性ある軍縮交渉とは」
五百旗頭 真 氏 元防衛大学校長
石井 正文 氏 元外務省 国際法局長
樋川 和子 氏 大阪女学院大学 教授
モデレーター 飯塚 恵子 読売新聞編集委員・論説委員
BS日テレ「深層NEWS」コメンテーター

主催 読売新聞社
特別協力
広島大学、広島テレビ
後援
広島サミット県民会議、
広島県、広島市

核兵器のない世界に向けて
—安全への道筋は

PROFILE



ブラッド・ロバーツ 氏

米ローレンス・リバモア国立研究所
グローバルセキュリティリサーチセンター所長
国防分析研究所研究スタッフ、スタンフォード
大学教授などを歴任。抑止理論の専門家で、
オバマ政権時代の2009年から13年まで、
米国防次官補代理として、核戦略策定の中核
にいた。21年、旭日中綬章を受章



川野 徳幸 氏

広島大学 平和センター長

広島大学原爆放射線医科学研究所助教など
を経て、2013年、広島大学平和科学研究
センター（現・平和センター）教授、17年より
現職。専門は原爆・被ばく研究、平和学。読
売新聞と平和センターが共同実施している
被爆者アンケートの取りまとめ役も務める



北岡 伸一 氏

東京大学 名誉教授

東京大学大学院教授、国連代表部次席代表
（特命全権大使）、国際大学学長、国際協力
機構（JICA）理事長などを歴任。有識者会議
「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇
談会」座長代理なども務めた。専門は日本
政治外交史



五百旗頭 真 氏

元防衛大学校長

神戸大学教授、米ハーバード大学客員研究
員、防衛大学校長、熊本県立大学理事長
などを歴任。日本政治学会理事長、政府の
東日本大震災復興構想会議議長なども務め
た。専門は日本政治外交史、政策過程論、
日米関係論。文化功労者



兼原 信克 氏

元内閣官房副長官補

外務省日米安全保障条約課長、国際法局長
などを歴任。第二次安倍政権で、内閣官房副
長官補（外政担当）、国家安全保障局次長を
務めた。専門は安全保障論。2020年より
同志社大学特別客員教授。15年、仏政府よ
りレジオンドヌール勲章を受勲



石井 正文 氏

元外務省 国際法局長

外務省地球規模課題審議官、国際法局長な
どを歴任。駐米大使館公使（政務担当）、駐
英大使館公使（政務担当）、インドネシア
大使などを務めた。現職は学習院大学特別
客員教授で、専門は国際法。広島県東広島
市出身



小泉 悠 氏

東京大学先端科学技術研究センター 専任講師

外務省国際情報統括官組織専門分析員、
公益財団法人未来工学研究所研究員などを
歴任し、2022年から現職。専門はロシアの
軍事・安全保障政策。主著に「ウクライナ戦
争」（筑摩書房）、「現代ロシアの軍事戦略」
（同）などがある



樋川 和子 氏

大阪女学院大学 教授

専門は核軍縮・核不拡散。外務省勤務時代
には軍備管理・軍縮・不拡散専門官を務め
た。2020年から核軍縮検証に関する国連
政府専門家グループのメンバー。「へいわ
創造機構ひろしま」などによる核兵器廃絶に
向けた提言の作成にも参加した



小倉 桂子 氏

8歳の時に爆心地から2.4^{キロ}の広島市牛田
町で被爆した。世界各地で被爆体験を英語で
証言し、2014年、広島市での『軍縮・不拡散
イニシアチブ外相会合』に出席した外相ら
に体験を語った。「平和のためのヒロシマ
通訳者グループ」代表



飯塚 恵子 モデレーター

読売新聞編集委員・論説委員
BS日テレ「深層NEWS」コメンテーター

読売新聞政治部で首相官邸、外務省、防衛
庁、那覇駐在などを担当。ロンドン特派員、
政治部デスク、アメリカ総局長、国際部長
などを経て、2019年から現職